

「JOMOバッテリー AI Spec」の新発売について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、かねてよりJOMOブランドの自動車用バッテリー「JOMOバッテリー」をグループ会社の株式会社JOMOサポートシステム(本社:東京都港区虎ノ門一丁目、社長:中山弘志、当社100%出資)を通じて販売しておりますが、このたび、プライベートブランドとしては初となる自己診断装置を搭載した「JOMOバッテリー AI Spec」を商品ラインナップに追加し、来る11月21日に新発売することといたしました。
2. 最近のバッテリーは製品寿命限界まで性能を維持するがゆえに、突然機能停止に陥る傾向にあります。これまでは定期的に電圧点検を行う以外にバッテリーの寿命を測定するのは困難な状況でした。そのため、2004年度のJAF(社団法人日本自動車連盟)ロードサービスの出動件数に占める割合も、バッテリーのトラブルを出動理由とするものが1位となっております。
3. 今回発売する「JOMOバッテリー AI Spec」は、上記の自動車用バッテリーの問題点を解決し、お客さまに“安全”と“安心走行”を提供する優れたバッテリーです。具体的には、自己診断装置を搭載することにより、常にバッテリーの状態を検知し、異常な状態や寿命が近づくと警告音により交換のタイミングをお客さまにお知らせします。
4. 新商品の概要は次のとおりです。
 - (1) 商品名: JOMOバッテリー AI Spec(製造元:新神戸電機株式会社)
 - ※ AI
Artificial Intelligence(人工知能)の略
 - (2) 機種構成:「65B24」「80D23」「110D26」「115D31」の4機種8品番
 - (3) 発売日:2005年11月21日
 - (3) 商品特長:
 - (1) バッテリーの寿命・状態を警告
自己診断装置を搭載し、バッテリーの異常な状態や寿命が近づくと警告音によりお知らせします。
 - (2) お客さま自身によるマニュアル診断も可能
チェックボタンを搭載し、それを押すことで簡単にマニュアル診断することも可能です。
 - (3) 補水不要(メンテナンスフリー)
蒸発水を還流する密閉式の特殊蓋構造の採用により、補水が不要です。
 - (4) 既存のJOMOバッテリーと異なるデザインとカラーを採用
外箱は、JOMOステーションに導入を推進しているコンセプト「Value Style」をイメージしたデザインとカラーを採用し、本体である電槽部分は黒色とすることで、既存のJOMOバッテリーとの差別化を図りました。

● 【添付資料】

 「JOMOバッテリー AI Spec」の写真(PDF:56KB)

以上